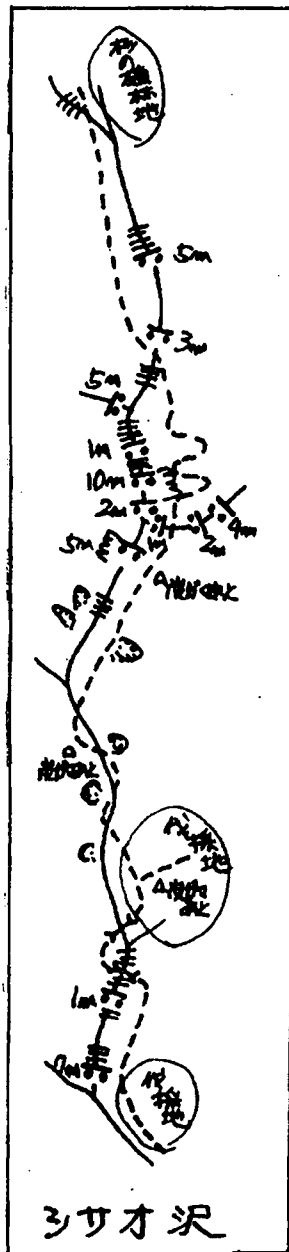


この地域では支沢の中流域が比較的平坦となることを昔の人はよく知っており、自分の家からかなり離れているにもかかわらず、農地をひらき、杉や松の苗を植えたものだろう。

「まだ水量があるからもう少し先に行ってから引き返そう」と思い、なおも先に進む。と、10m 2段の出できた。ホールドも比較的多く、シャワーで直登する。こ

の先ナメと小滝が連なる。支沢の1本についても帰りがけにちょっと偵察してみたが、こちらの方も同様である。快速に登り詰め、10:40遡行終了。檢山沢の源は音をたてて湧きだす大量の清水であった。 (記・—)

[タイム] 出合(8:05)→遡行終了(10:40)



## シサオ沢

1983年6月11日

増沢バス停から鱒沢ぞいの林道を歩いてゆく。この林道は現在盛んに延長工事が行なわれている。

13:15砂子沢出合を通過。沢はまだ平凡なままなので、左岸につけられた踏跡を利用してスピードアップを図る。13:20左下の流れに滝がかかっているのが見えてきた。これを見逃す手はあるまいと、下に降りてわらじをつける。

7m程の斜瀑である。ホールドも結構多く、右岸を直登する。上部はシャワークライムとなった。

上に出て少し進むと沢は平凡になる。30分程歩いても変化がないので、また上に上がって踏跡でも利用しようかと考えていたら、滝が出てきた。5m程で右岸を直登。その上にももう1つ10mの滝。これはホールドも少ない。右岸から取り付き、小さなスタンスと、あまり当てにならない枯木、ブッシュを利用しながら登りきる。この上はまた平凡となった。

14:10バラバラと木々の葉を打つ雨音が聞こえてきた。すごい夕立である。雷も鳴っている。みる間にズブぬれと

なった。「ええいままよ」と更につめ上げ、14:30二俣に分かれ、小さなルンゼ状となったのを確かめて引き返すことにする。 (記)

[タイム] 増沢バス停(12:40)→入谷(13:25)→遊行終了(14:30)→増沢バス停(16:00)

ヤゲシ沢

1983年9月13日  
LⅡ

天気晴れ。鱒沢合流点そばに車を置いて、摺上川本流右岸の岩場をへつってヤゲシ沢出合まで下降する。14:25出合着。

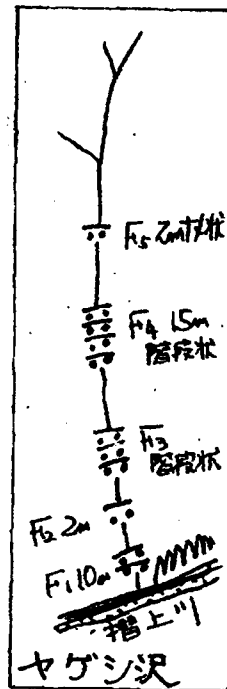
出会いすぐにはF1 10mが立ちはだかっている。水量はそれほど多くもなく、直登するが、苔はついているし、岩の突き出ている所はあるので、足場は悪く、ザイルで確保してもらう。

次にF2、F3と傾斜をもった階段状の滝が続く。対岸の道路からはこのあたりの滝がきれいに見えるとの事である。

30分も歩くと、急に沢は狭くなって、藪がかぶさってきた。今日の遊行はこれで終わりとして、15分程藪をこいで、左岸の植林地の踏跡に出て下山する。

短い遊行であったが、初めの取り付きがおもしろい沢であった。 (記・フ)

[タイム] 出合(14:25)→遊行終了(15:00)



磨 沢

1983年5月30日

仕事で、山菜とりで、あるいは沢登りだと、摺上川の流れに沿う国道399号線にはしょっちゅう車を走らせるのだが、この磨沢に水が流れているのを見たことはほとんどない。大雨のあとででもないかぎりいつも溜沢なのである。

12時20分入谷。石のゴロゴロした溜沢の中を進む。15分程で農道を横切って更に上流へ。1時間近く歩いた所で、前方から水音が聞こえてきた。ナメが出てくる。